

# そよかぜだより

2014  
9月号

そよかぜ歯科医院のURL  
<http://soyokaze-dc.com>



## 9月(長月)



今年の夏も真夏日、猛暑日と暑い日が続きましたが、9月に入り、残暑半ばとやや和らぎ過こすくすなりました。

しかしながら、9、10月でも真夏の40℃~40%に相当する量の紫外線が降り注いでいます。紫外線の量が真夏の半分であったとしても、涼しいため日差しに当たる時間から倍になれば、受けるダメージは同じ、あるいはそれ以上になってしまいます。紫外線を浴びると、骨代謝が活性化されますが、多すぎるとシミ、しわがでえたり、敏感肌や乾燥肌になってしまいます。皮膚がん、白内障のリスクが高くなる危険性もあります。外出する時間が長い場合は、しっかりと紫外線対策をして、行楽の秋、スポーツの秋を楽しみましょう。

## 洗口液の新商品

歯周病安定期向けの洗口液が入りました!

\*歯周病安定期(SP-T)…歯周病が安定していること。

- 殺菌力に優れています。
- 洗口剤、うがい薬と使用できます。
- 清涼感に優れています。
- 口臭除去に優れています。
- 新しい成分により、アレルギーが少ないです。
- 透明なジェルにより着色を抑えます。



## 歯の色素沈着と変色

前回は、審美歯科治療についてお話してきました。今回は、その審美歯科治療の中で歯表面の色調に対する治療の原因と最も多い、色素沈着、変色についてお話しようと思います。

色素沈着、変色の原因は、遺伝的要素あるいは歯の発生、成長過程において障害を受け、歯の内面の色調が変化する内因性のもので、歯が病的に溶けたら、歯表面に色素の強いものが付いたらする外因性のもつに分けられます。

今回は外因性のもつの中でも歯表面に限局した色素沈着についてクロロスタープンという菌が原因です。図に示すように歯表面には、摂食する際に付着する色素やお口の中に存在する細菌が付着しております。歯の表面には目に見えない亀裂が存在しており、多くの色素が内部に入り込み歯の変色の原因となります。着色原因として、お茶、コーヒー、タバコ(植物性)の着色、食べ物に含まれる香料による着色、揮発性有機化合物(リン酸)による着色があげられます。

歯の表面について着色はなかなか日頃の歯ブラシだけでは落ちません。そのため歯科診療室での治療が必要となります。次回からは、歯の表面を削らない治療のPMTCについてお話します。



歯面の着色の図

参考文献：2009年クイーンテッセンスより

## 歯科衛生士 小林真奈美

今月末から産休をいただきます。

約1年間、出産・子育てに没頭する日々ですが、楽しみながら頑張りたいです!!

また元気な姿で戻ってきて、1日でも早くみなさまのお口の健康管理に携わっていただければと思います。

## ●院長からのメッセージ

今回は、審美歯科治療を施す症状の中で、多い歯の着色や変色についてお話しようと思います。その中でも日常、私たちが食べるものなどに着色の原因がふくまれている。

特に、渋味、辛味あるいは苦味がある食材が着色の原因になるものが多いようです。すなわち、お茶、コーヒー、カレーなどは珈琲などが挙げられます。これらのタバコは着色だけでなく、歯周組織の破壊だけではなく、身体に対して悪影響をもたします。

また、色調の変化は歯に限らず、様々な部位において炎症の度合い、機能障害、あるいは壊死などのバロメーターにもなることがあります。正常組織の色調を知っておくのも健康維持あるいは病気の早期発見につながると思います。

健康な色調を保つこととより美しく変化させないことと心の健康を一手に入れます。